

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No.3113 業種名:自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成21年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量										
実績に対する自己評価										

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数(千個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成21年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
			平成28年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	1.90	1.70 -10.5	1.61 15.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計	1.90	1.70 -10.5	1.61 15.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.72	0.65 -9.7	0.602 16.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する自己評価	平成27年度と平成28年度を比べると、エネルギー起源CO ₂ は、1.658 (H27) ⇒ 1.61 (H28) 前年比2.90%削減した [CO ₂ 量：14,468 t-CO ₂ (H27) ⇒ 14,809 t-CO ₂ (H28)、生産量：8,728mil (H27) ⇒ 9,179 mil (H28)]。また、省エネ設備の導入として、①工場個別照明順次更新 LED or インバータ化 (150台) ②高圧進相コンデンサ更新 (8台) ③素材事務所空調機更新 ④T7熱処理炉更新 (低炭素工業炉導入) を行い効果が出たと考える。									

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気の使用量の削減	電気の使用量を対前年比 原単位1%削減	冷暖房装置の適正管理 高効率照明器具への更新 省エネ型電気機器への更新 変圧器統廃合&高効率変圧器への更新 休憩時間の消灯の徹底
2	ガス使用量の削減	ガス使用量を対年比25%削減 (平成29年達成見込み)	T7熱処理炉の更新 (低炭素工業炉の導入、平成28年)
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	製品の軽量化	顧客要求事項100%達成	各プロジェクトの製品の実現化
2	産業廃棄物削減	対前年比 原単位1%削減達成	分別収集及び資源化の徹底
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。